

単
元
名

絵巻物と漫画の表現 / 墨で描く楽しさ

教科書出版社名 (光村図書)

○ 中学校 (2) 年 教科等 (美術)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・生活や社会の中の美術作品や美術文化に触れ、様々な表現方法を理解する。
- ・生活や社会の中の美術作品や美術文化に触れ、表現方法や工夫を感じ取る。
- ・美術文化継承・発展の精神と、日本美術を愛好する態度を養う。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・複数ある資料の中からもっとも学習に活用しやすいものを探し、それぞれの良い部分を比べる。
- ・情報を収集したり活用したりする学習を充実した言語活動に生かすことができる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…

- ・自分が興味をもった作品を、より身近に感じたり、じっくりと鑑賞したりするために、作品が掲載された図録を用いる。
- ・図録の内容を見比べながら、自分が必要としている作品を探し出す。

●整理・分析…

- ・どうすれば相手にわかりやすく伝えられるかイメージし、適切な形式を選択して整理する。
- ・図書の作品例等を参考にイメージを膨らませ、想像力や、創造性を高める。

●まとめ・表現・発信…

- ・図書館資料から記載内容を読み解き、必要な情報を集め、自身の制作に役立てる。
- ・構成を考えて、決められた時間内で相手や目的に応じて内容や表現を変える。

○ 学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次 ☆ 1時間	・絵巻物「鳥獣戯画」と漫画「火の鳥」を鑑賞し、読み取った違いについて交流する。
第2次 ☆ 2時間	・テーマ「大切な人に想いを伝える」について、想定した場面に合う画を、図書掲載作品から選定する。
第3次 ☆ 3時間	・構図を決め選択した作品をはがきに写し取る
第4次 ☆ 4～5時間	・墨の様々な表現 (筆の勢いや偶発性、遠近感等) や筆の扱い方を知り、事前に写し取っていた画を墨で描く。
第5次 6～7時間	・捺印する意味や場所について知り、作成した印鑑を作品に落款する。
第6次 8時間	・鑑賞会

(本時4 / 8時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

- ・図書掲載作品から、様々な表現があることを感じ取る。
- ・日本の美術作品に触れ、楽しみながら日本美術を愛好する心を育む。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10 導入	1. 本時の目標を確認する。	・参考作品を実際に見せることで、学習の見通しを持たせるようにする。
集めた情報を参考にして墨で描こう		
30 展開	2. 前時に写し取っていた画を、墨で描く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・図書掲載作品を例に挙げながら、墨による様々な表現(筆の勢いや偶発性、遠近感等)や筆の扱い方について、説明する。その際、複数の作品を提示し、比べたり見返したりするなど、図書ならではの活用を心掛ける。・生徒がいつでも参考にできるよう、図書を身近なスペースに置いておく。</div>
10 まとめ	3. 本時の振り返りをする。	・他者の世界を知り、自分の作品に取り入れる事で、新たな発想が生まれることを実感できているか振り返り、今後の制作に生かせるようにする。

図書館活用
ポイント